

10週 人間の罪

質問 14. 罪とは何ですか。

答え I 罪とは、神の律法を守れなかったこと、その戒めに違反したことです。

質問 15. 私たちの最初の祖先が、被造された地位から墮落するようになった罪は何ですか。

答え I 私たちの最初の祖先が、被造された地位から墮落するようになった罪は、禁じられた実を食べたことです。

解説

罪

道徳法では、私たちが行うべき義務の範囲を語っていますが、その範囲を超えることを罪だと語ります。これと同じように、神が律法によって命令なされたことを守れなかったことが罪であり、してはならないと禁じたことを破ることが罪です。神の律法には、その方の聖と義、そして善を含んでいるから（ロ

マ7:12) その律法を犯すべき理由は何処にもありません。ところが人間は、神の律法を守ることをせず、破ってしまいました。

原罪は、悪魔の罪から来ました(1ヨハネ3:8)。悪魔は、初めに罪を犯した存在として、エバを罪によって誘惑し、罪を犯させました。勿論、誘惑を受け、罪を犯したアダムとエバに責任がありました。それゆえ罪は、性質上、悪であり、汚染させる性質を持っています。罪は、人間を悪魔の形に造り上げます。律法の制定者は神であるので(イザヤ45:23)、神の律法を破る罪は、性質上、神に敵対することです。

あらゆる罪の性質

聖書において罪を、汚れたものと告げます(イザヤ30:22)。そのため、罪を犯した状態を、不潔な衣を着ていると語るのです(イザヤ64:6)。罪は人間の靈魂を汚します。それゆえ、旧約の祭司が神に出て行くためには、必ず、贖罪のためのいけにえを捧げなければならなかったのです。罪は、聖靈を悲しませます(エペソ4:30)。罪は、神の恵みを忘れさせ、神の恵みを乱用させ、神の戒めに違反させます。ダビデはアブシャロムに恵みを与えたが、アブシャロムはダビデに敵対したことと同じものです。

罪は、病気と同じで体全体を病ませるので、傲慢と情欲と妬みのようなものが体を支配し、主張し、理性を麻痺させ、心を汚染させて行くのです。従って罪は、非理性的なものとして、悪いだけでなく、愚かな行動等を発症させます。罪は、苦しみを誘発させます。罪は、自分自身に苦しみを与えるだけでなく、共同体にも苦しみを与えます。罪の効果は悪です。それで私たちの榮譽を壊し、靈魂の平和を奪って行き(イザヤ57:21)、恐れを持ち込ませます。

罪は、良心に重荷として作用し、重くのしかかります。イスカリオテ・ユダ

が苦しんだのも、このような理由からでした。罪は、すべての問題と苦しみを生じさせ、家庭と国家を混乱に巻き込みます。そして、罪の悔い改めがない場合は、最終的に罪の定めを持たらします。

無罪の状態

アダムとエバは罪のない栄光の状態でした。彼らには、聖さがあり完全な知識を持っていました。アダムは完全に聖く、自由の中で善を行うことができました。彼らは、自分たちの義務を知っていて、持っている知識によって容易に神に従順することができました。アダムの墮落する以前の自由意志は、誘惑に打ち勝てるに十分でした。墮落する以前は、人間が世界を主管しました。

このように神は、人間を正しい者と造られたのですが、人間は多くの理屈を探し出したのです（伝道書 7:29）。自ら理屈を膨らませ、罪を犯したのです。

善悪の実を食べてはならないと命じた理由

神が、アダムに善悪の実を食べてはならないと命じた理由は、善悪の実、それ自体が悪だからではなく、ただ人間が従順するのかどうかを試すために、その実を食べてはならないと禁じたのです。神が、食べてはならないと命じたので、アダムとエバは善悪の実を食べてはならなかったのです。

悪魔の誘惑

悪魔の誘惑は嘘から始まりました。そして悪魔は、続けて嘘を持ってエバを誘惑しました（ヨハネ 8:44）。悪魔が誘惑するためにエバを先に選んだのは、彼女が誘惑に抵抗できるのに弱いと考えたからです。それから、彼女を通してアダムを簡単に誘惑できると見たからです。ヨブが苦難を受けていた時、その妻

が誘惑したのと同じです（ヨブ 2:9）。悪魔は、エバの信仰を先ず弱くさせ、神の真理について疑いを抱くようにさせました。そして傲慢になるように誘惑しました。結局エバは、善悪の実を食べ、自分の夫にも与え、食べるようにさせました（I テモテ 2:14）。

アダムとエバの罪

アダムとエバの罪は、禁じられた実を食べたことでした。彼らの罪は、単純に一つの罪ではなく、複合的であって、多くの罪でした。アダムとエバは、神の仰せられた言葉を信じませんでした。彼らは、善悪の実を食べた場合、必ず死ぬと言う神の言葉を信じなかった。神の言葉を信じないことは、神を嘘つきにさせ、悪魔を、神よりも信じるということでした。

アダムとエバの罪は、エデンの園にて犯したことです。神は、アダムとエバに園のすべての木の実を食べるようにさせ、世界を主管できる権威も与えました。アダムとエバは、自足しながら神に感謝すれば良かったのです。しかし、彼らは自足ができず、感謝もしませんでした。かえって、悪魔の言葉に耳を傾けたのです。

そして、アダムとエバの最大な問題は、神になろうとしたことでした。神が、被造物の中で最も高い位置に置いたのですが、それにも感謝しませんでした。善悪の実の、食べるに良く、目に慕わしく、感覚的な興楽に、誘惑されてしまいました。それで、神の戒めを破ってしまいます。不従順し、主権者なる神に反逆を行ったのです。アダムとエバの罪は、自分たちだけでなく、子孫にまで死をもたらした罪でした。そのため、アダムとエバの罪は、殺人罪に該当されます。アダムとエバの罪は、極悪非道な罪でした。